下呂市医療ビジョン

～地域医療を守り、育てるための医療方針～

県立下呂温泉病院（平成26年）と市立金山病院（今年8月）の新築移転により施設が整備されますが、充実した医療環境を成り立たせるためには、並行して医療従事者の確保や包括的な体制の整備、市民協働体制づくりが不可欠です。

昨年度、下呂市医療ビジョン策定委員会（委員長　大塚正議　市医師会長）において右記課題について協議が重ねられ、多くの意見や提言をいただきました。こうした意見・提言等を取りまとめながら、方針や具体的な取り組みや目標を定め、将来にわたって市民が安心して医療を受けられるための方針として「下呂市医療ビジョン」を策定しました。

本ビジョンの中では「連携」と「協働」を重要なキーワードとしています。医療関係機関それぞれが持つべき機能や役割を明確にするとともに、市民、行政が「協働」することが大切であり、いずれか1つだけでは成り立たないことを明記しています。

今後、関係機関と市民の皆様のご協力をいただきながら、安心して医療を受けられるためのまちづくりを推進して参ります。以降は抜粋した内容をご紹介いたします。

◆新金山病院 開院間近

来る8月1日に、「新金山病院」が開院します。

新病院の敷地面積は周辺施設を含め約1万6千3百㎡、延べ床面積約7千㎡で鉄筋コンクリート5階建て。総事業費は約19億4千万円、病床数は一般病床が50床、療養病床が49床です。

現在の金山病院は、昭和53年に建設され、老朽化や耐震性等の観点から移転新築が必要となり、地域の方からの意見を反映させた施設として、平成23年2月に新病院の建設が始まりました。新病院は、診療規模は現行のままで、本来病院にあるべき機能の充実を図り、「救急外来の充実」「検診と診療の分離」「透析室、療養病床の増床」などに取り組んでいます。

古田智彦院長は、建設当初に次のようなコメントを述べています。

「地方病院は地域住民の支えがなければ維持できません。自分たちにとって大切な病院だから、自分たちで支えるという意識を持つことが必要です」と。

医療ビジョンにもありますが、病院と患者さん（市民）は、〝医療を提供する側〟と、〝受ける側〟といった関係だけではなく、市民と医療機関と行政との三者が協働し、地域医療を一緒になって守り育てていくことが必要とされています。

新金山病院が開院となり、平成26年には新県立下呂温泉病院が開院となりますが、それぞれの立場で、「地域医療の在り方」を考え、行動することが求められています。

開院間近となった新金山病院

◆地域医療体制について

医療崩壊は地域崩壊の一側面であり、医療再生は地域再生につながります。

マンパワーの確保と病院、診療所、開業医の皆さん等との連携が取れてこそ、充実した医療環境となります。

【目標】

① 保健・医療・福祉（介護）が連携し、市民が安心して生活できるため、市民みんなで受診体制の充実を図りましょう。

② 健康保持増進機能の充実を図り疾病予防を推進しましょう。また、かかりつけ医機能や介護保険等の利用も取り入れた在宅医療を充実させることにより、保健・医療・福祉（介護）を包括的に提供できる体制を目指し実現させましょう。

◆人材確保・育成対策について

平成16年度からの医師臨床研修制度により、大学病院から地方病院への医師派遣が難しくなっています。

中核病院の勤務医が疲弊することがないように「かかりつけ医」「家庭医」の利用や、休日には「下呂市休日診療所」を利用することで、改善を図ることが大切です。また、医師がこの地域に溶け込み、居心地が良いと感じ、定着するための人のつながり、地域づくりが大切です。

【目標】

① 医師が働きやすい環境で魅力ある街づくり、医師と患者が信頼しあえる体制を整え、医師の招聘（しょうへい）と継続して就業できる環境をつくりましょう。

② 現在の医療水準を継続するため、常に医師招聘に努め、さらに診療していない診療科目を充実させるための医師招聘活動についても、積極的に取り組みましょう。

◆市民協働体制について

地域医療は医療機関、市民、行政の協働作業であり、いずれかの1つの努力だけでは成り立たないということを念頭に置くことが大切です。

情報の開示、市民講座、定期的な市民フォーラムの開催を重ねながら、医療体制を再構築するために何ができるかを考え、地域医療を守らなければなりません。

【目標】

① 医療機関と市民と行政が一体となり協働して、地域医療を守り育てる具体的な活動の展開を図り、下呂市において、いつでも必要な時に良質な医療が受けられ、安心して暮らせる街づくりを目指しましょう。

「下呂市医療ビジョン」は、各振興事務所、保健センターに配置のほか、市ホームページで閲覧できます。詳細は医療対策課までお問い合わせください。

☎53・2101

【健康医療部　医療対策課】

◆調整診療と休診についてのお知らせ

新金山病院への引越し作業に伴い、次の日程で一部診療を調整する期間と、診療をお休みする期間があります。

調整診療▽7月9日㈪から8月6日㈪まで、一部の診療科で診療を制限する場合があります。（※詳細は後日、新聞折り込みにてご案内いたします。）

休診▽7月30日㈪と31日㈫の2日間（※歯科は27日㈮を含めた3日間）にわたり、診療をお休みいたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

☎32・2121

【金山病院】

県立下呂温泉病院の起工式

5月28日、下呂市森地内の建設地で県立下呂温泉病院移転新築工事の起工式がありました。古田知事や山森同病院理事長をはじめ、県や病院、工事関係者60名の出席がありました。総事業費は約95億円、26年5月の開院を目指しています。鉄筋コンクリート5階建て、15診療科で病床数は206床、全て個室となります。免震構造のうえ、屋上にヘリポートを整備し、飛騨地域南部の中核病院として建設されます。

山森理事長は「災害に強く地域の皆さんに貢献できる病院を目指します。」と述べられ、野村市長は「病病・病診連携の要となる病院。地域医療の大切さを訴えていきたい。」との挨拶がありました。

くわ入れをされる古田知事（右）と駒田県議会議長